| 科目名 | 72．地域生活こころの支援 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 履修年次 | ２年次 | 科目区分 | 専門分野 | 単位数<br>(時間) | 1単位<br>(15時間) |
| ディプロマポリシー(DP) | □ 人を大切にするこころ<br>□ 現象を適切に把握し地域で生活する人を支える看護実践力<br>☑ チームの中で連携・協働するための力<br>□ 専門職業人として自己研鑽する力 | | | | |
| 科目目標 | 精神的健康課題をもちながら、その人が自分らしくいきるために必要な施策・支援を理解することができる | | | | |
| 到達目標 | 精神的健康課題をもちながら、社会の中でその人が自分らしくいきるために必要なサポートシステム・支援活動について表現することができる | | | | |
| 評価方法 | 筆記試験（80点）、学習到達度基準を用いたレポート評価（20点）による総合評価を行う | | | | |
| 使用<br>テキスト | 系統看護学講座　専門分野Ⅱ　精神看護の展開　精神看護学②　医学書院 | | | | |
| 参考文献 | | | | | |
| 教育方法と学生への期待<br>(求めること) | 「地域生活こころの支援」では精神的健康課題をもつ対象が社会の中でその人らしくいきるとはどのようなことなのか、そのために必要なサポートシステムと支援方法を学び、その人に必要な支援を考え表現できるよう学習されることを期待しています。そのためには疾患や症状について復習し、既存の知識を活かせるようにしておきましょう。また、精神的な健康課題を持つことは特別なことではなく誰でもなり得ることであると理解し、自分のこととして考え、自分らしく暮らすこと、その人らしく暮らすことをリンクさせてイメージし、必要な支援の在り方を深く追求できるよう粘り強く考えてください。 | | | | |

| 回 | 学習項目 | 学習内容 | 授業方法 |
|---|---|---|---|
| 1 | 地域で生活する精神障害者 | 精神的健康課題を持ちながら社会の中で自分らしく生活すること | 講義<br>演習 |
| 2 | 地域におけるケアと支援 | 地域精神保健の視点/地域における生活支援<br>地域生活を支えるシステムと社会資源 | 講義 |
| 3 | 地域で生活する精神障害者の活動の場と支援① | 生活・活動を支援する場(日中活動支援、居住支援、医療支援) | 講義 |
| 4 | 地域で生活する精神障害者の活動の場と支援② | 活動を支える支援(一般就労に向けての支援、就労移行支援、就労継続支援) | 講義 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5 | 地域で生活する精神障害者の活動の場と支援③ | 精神科訪問看護、精神科デイケア、多職種連携 | 講義 |
| 5.5 | 地域生活を支える支援の実際① | 社会復帰・社会参加への支援の実際 | 演習 |
| 6.5 | 地域生活を支える支援の実際② | 精神的健康課題をもつ人々が、地域でその人が自分らしく生きるための支援のあり方と課題についてのまとめ | 演習 |
| 7.5 | 地域でその人が自分らしく生きるための支援まとめ | 精神的健康課題をもつ人々が、地域でその人が自分らしく生きるための支援のあり方と課題　の発表 | 演習 |